

させ様とするから暫らくかくまつてくれ」とか言つて、其處で着物をオーバーの上へ着替えたりした。

所で何處だかの警察へ連れて行かれた。

安藝と周防の國境は何時のまにか越えた。

廣島から乗込んだ二人の巡査は、矢張り降りないで、便所の中から出た新吉が、まさか飛び降りはいまいと思つて、車中を隈なく探した。

車掌の智慧でやつと、寝臺車の上に新吉が居そうなと解つた。

カーテンをまくつてみなければそれもたしかではない。

若しも不意に新吉が、短刀でも振り廻すと危険なので手を上げかねてゐた。

新吉は人の氣勢がするので見付かつたかなと思つて縁のカーテンを開いた。

目の下に巡査が二人と、驛員が立つてゐる。

後發痴呆性の笑ひ方を新吉はした。

巡査も敵視をすてゝ、看病に掛かつた。